

科 目	受 験 生 記 入 欄		
厳格対位法(作曲第2回)	学科：	楽器・声種：	受 験 番 号
1 枚のうちの 1 枚目			番

(ア)

(イ)

平成28年度 東京藝術大学音楽学部入学試験課題

作曲科
 第二回
 厳格対位法とバッハ様式によるコラール
厳格対位法
 実施日時：平成28年2月27日(土)
 12:00 ~ 15:00
 (実施時間:3時間)

★答案に氏名を書かないこと

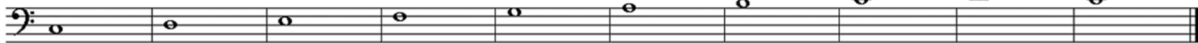
※実際に使用された試験問題はWeb掲載不可のため、例題のみ掲載する。

【例題】

1. 次の定旋律 (バス譜表) 上に、任意のハ音記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。

それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。

尚、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. 次の定旋律 (ソプラノ譜表) を高声部として、3声の華麗対位法を作成せよ。

尚、対旋律は、バス、テノール、アルトのいずれかの音部記号を用いること。

定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。

